

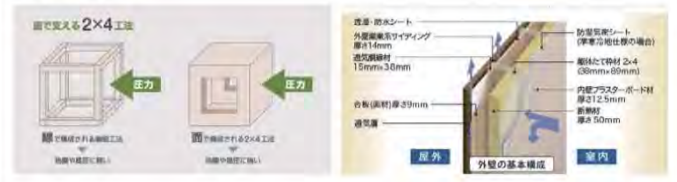
「モデル住宅の立面図及び断面図」

(※整理用ですので 何も書かないでください。)

断面計画

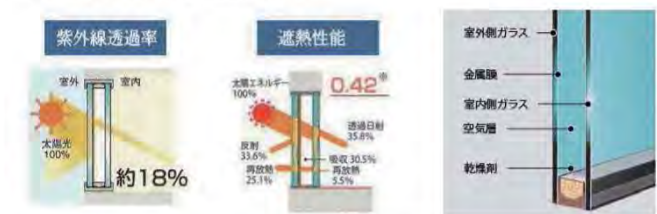
◆経済性・施工性・耐久性に優れた2×4工法

- ・2×4工法を採用することで、高い耐震性能と防火性をもった住宅を計画します。
- ・高気密な枠組み工法であるため、住宅の断熱性能・防音性能が高まります。
- ・工場でパネル化されたものを現場で組み立てるため、工期短縮・イニシャルコスト軽減に繋がります。
- ・木造軸組構法と比較して、階高を抑えることができ、北側住居への日影を配慮します。



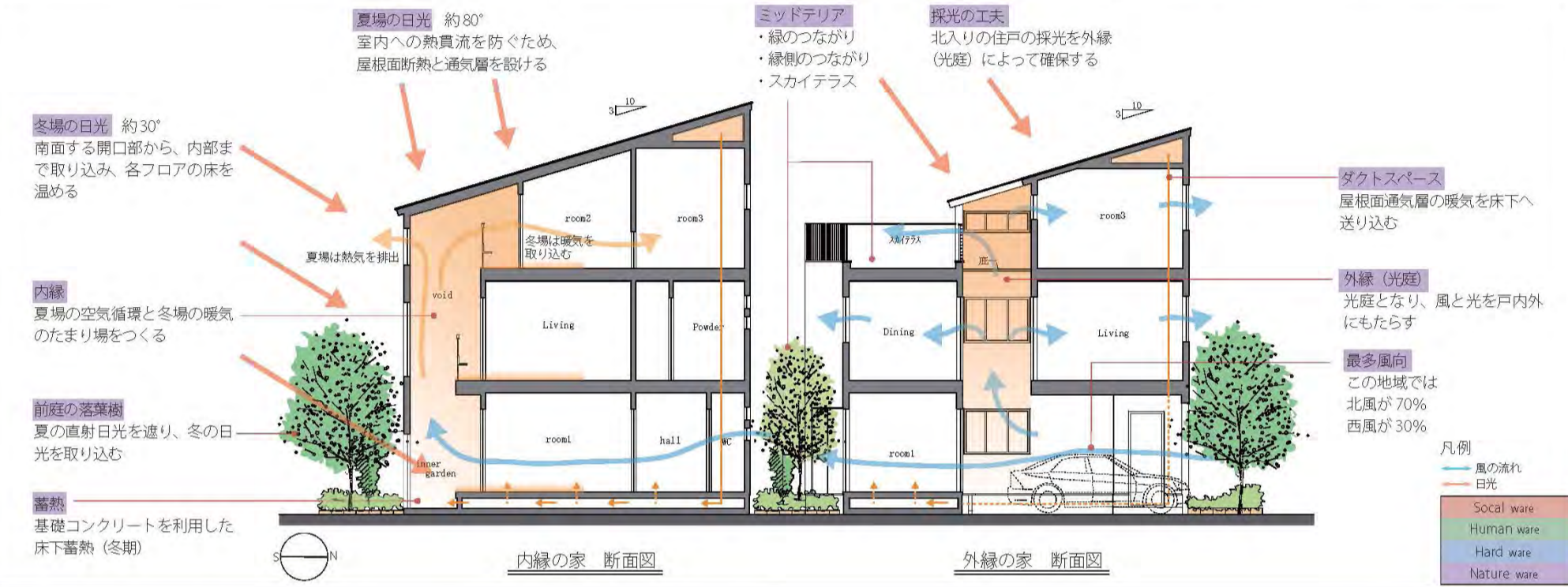
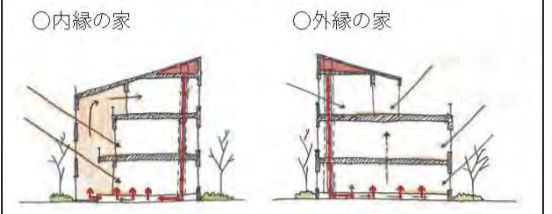
◆断熱性能を高めるLow-eペアガラス

- ・各住戸の窓の部分にはLow-eペアガラスを設ける事で、各住戸の断熱性・遮熱性を高めます。
- ・開口部から光を取り入れて、冬場の暖かさ確保しつつ、夏場の紫外線・赤外線カットします。
- ・日射熱を軽減することで、冷暖房負荷を低減し、省エネルギーでかつ、ランニングコストを軽減します。



◆室内の空気循環を作るダクトスペース

- ・各住戸の天井面には通気層を設け、暖気を床下へ送りこむダクトスペースを設けます。(冬期)
- ・外気が冷え込む冬場には、基礎コンクリートを利用して床下で蓄熱を行い、床下から住戸を暖めます。
- ・蓄熱による放射によって、冬場のエアコンの使用頻度を抑え、住宅の省エネ性能を高めます。



「モデル住宅の立面図及び断面図」

(※整理用ですので 何も書かないでください。)

都市型住宅群景観の創出

◆住宅群景観のコントロール

- パターン化と選択メニューの組合せ
 - ・ベース、アソート、アクセントに一定のパターンを持たせながら、スタイリッシュ・シンプルモダン系とウォーム・ナチュラルモダン系の2つの系列を緩やかに設定します。
 - ・2つの系列には一定のコントラストをつけて画一的な街並みとならないように配慮しながら、街全体として統一感のある配棟計画とします。

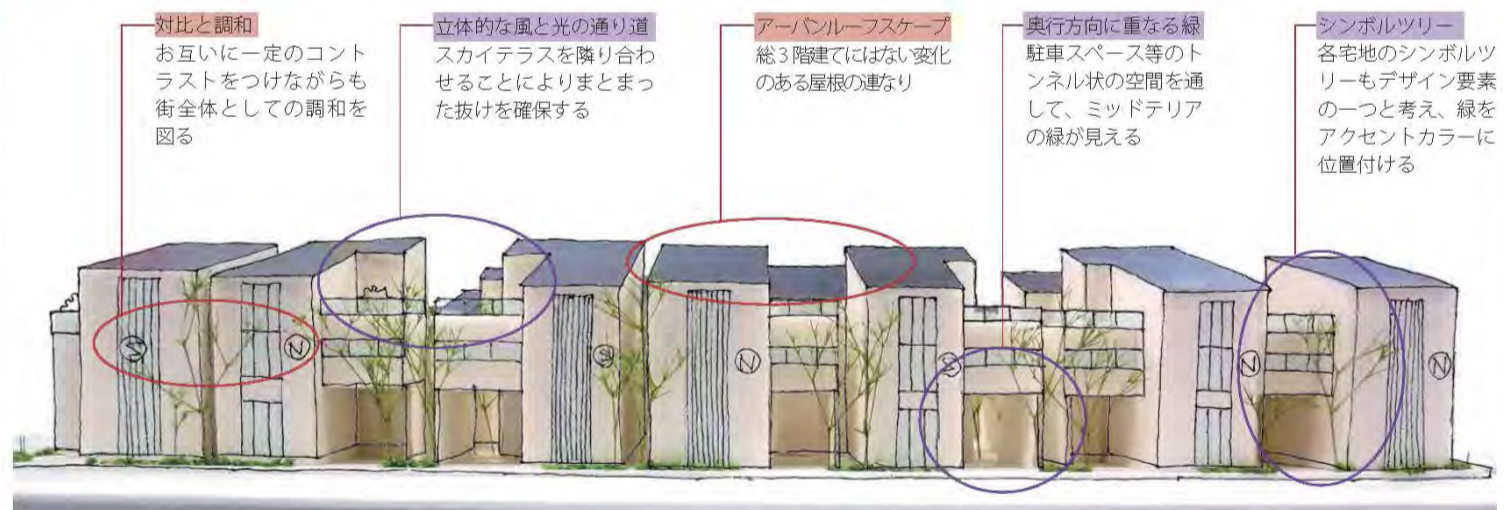
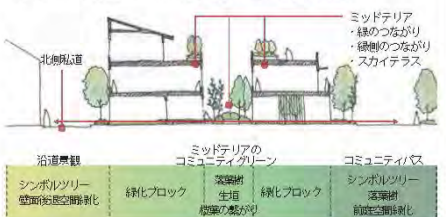


○立体的な街のしつらえ

- ・南側市道、コミュニティパス、北側私道、各々から見たときの立面の連なりの中に視覚的な抜けを創りだします。(立体的な光と風の通り道)
- ・手前の住宅の屋根の向こう側に奥の住宅の屋根が重なって見える屋根並みを創りだします。(アーバンルーフスケープ)

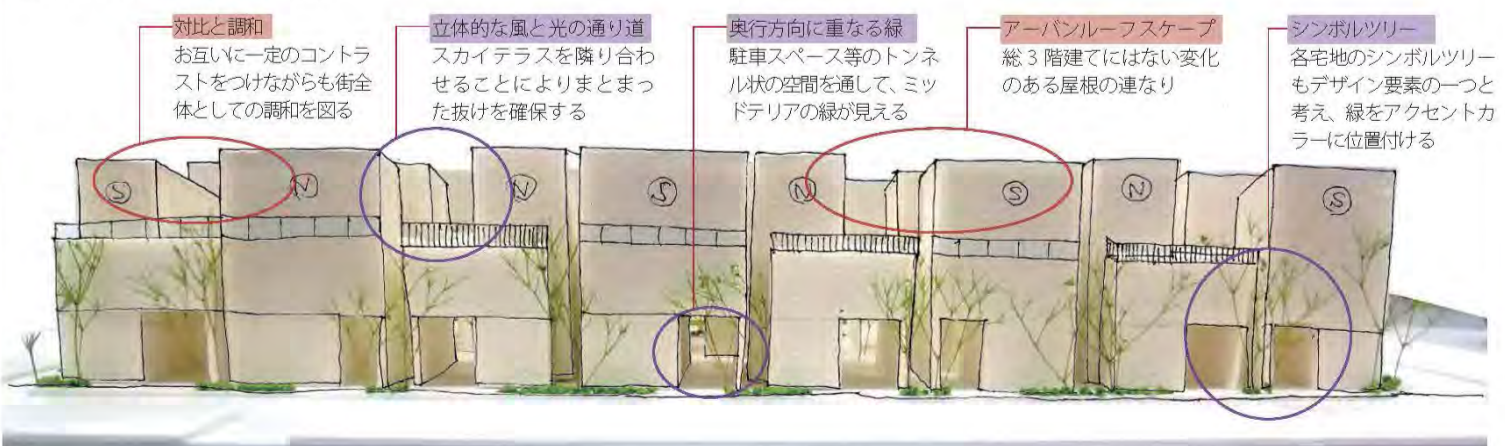
◆奥行方向に重なる緑の風景

- ・道路沿いの壁面後退空間・ミッドテリア・コミュニティパスの緑が奥行方向に重なって見えることで、通り沿いの景観には豊かな緑の表情がふれ出てきます。
- ・シンボルツリーを始めとして、様々な樹種が季節ごとに移ろいゆく景観を創出します。



S: スタイリッシュ・シンプル・モダン系
N: ウォーム・ナチュラルモダン系

南側市道より北側を見た立面群イメージ



北側私道より南側を見た立面群イメージ

